

# もっと知りたい!! ジェネリック医薬品

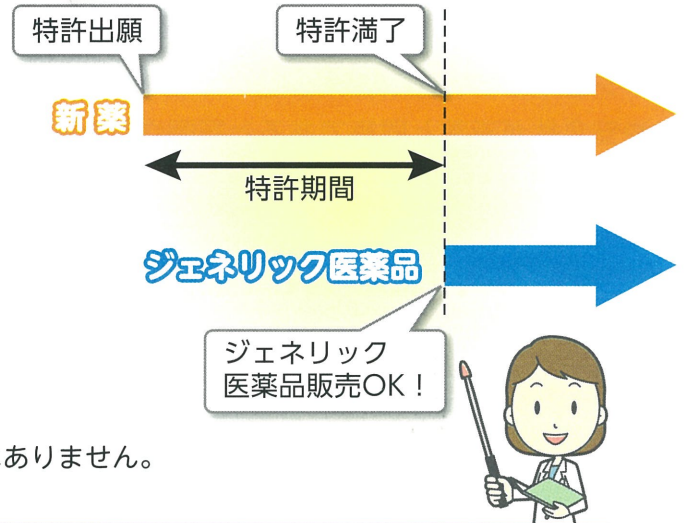
ジェネリック医薬品の使用は、自己負担の軽減だけでなく、医療費全体の抑制にもつながります。

**ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分を同じ量含む医薬品です。**

医療機関で診察を受けたときに医師から処方される薬には、「新薬」と「ジェネリック医薬品」があります。

新薬は、開発に多額の費用や時間がかかるため、特許期間が設けられていて、その期間は、開発した医薬品メーカーが独占的に製造・販売することができます。その特許期間が過ぎると、他の医薬品メーカーでも同じ成分の薬を製造することが可能となり、そうやって製造された薬がジェネリック医薬品です。

注：すべての薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。



**お薬代の負担が軽くなるだけでなく、医療費の抑制にもつながります。**

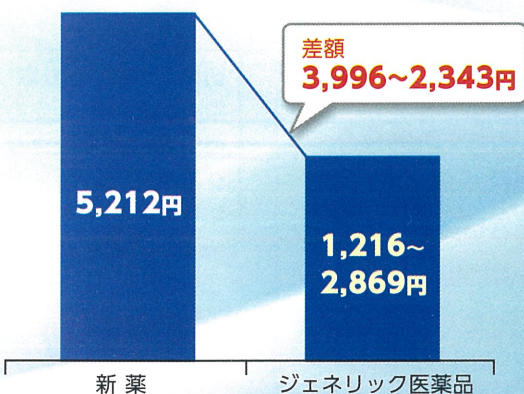
ジェネリック医薬品は、開発費用が低く抑えられるため、新薬に比べ3割から6割ほど価格が安く、患者さんの経済的負担が軽くなります。

また、高齢化が進み、医療費が年々増大する中、ジェネリック医薬品の普及拡大は、医療費の抑制にもつながります。そのため、国では、公的医療保険（健康保険）を将来にわたって維持していく上での重要な取り組みとして推進しています。

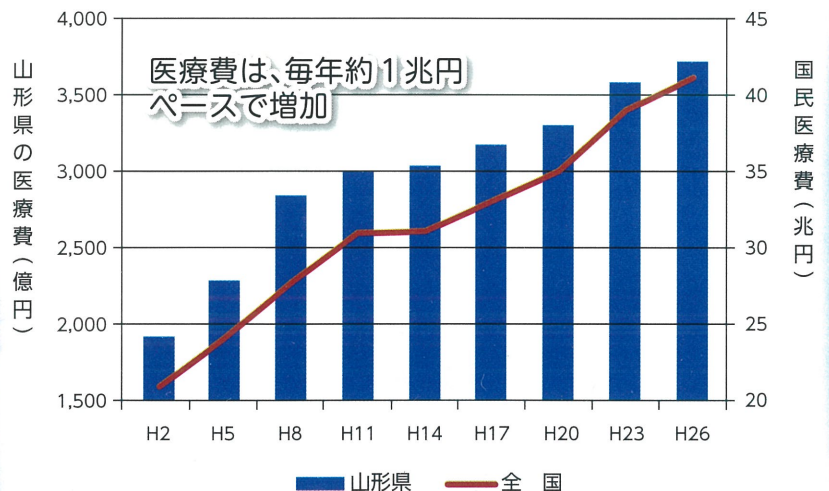
## ジェネリック医薬品と新薬の価格差

### [高血圧症の場合]

高血圧の代表的な薬を1日1錠365日服用した場合（窓口負担：3割）



## 国民医療費の推移



資料：厚生労働省「国民医療費の概況」